|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ＳＴＥＰ１** | **ＳＴＥＰ２** | **ＳＴＥＰ３** |
| **地域を理解する**  **【コーディネーター個人の動き】**  ①地域回り、地区自治協議会等の地域の団体へ事業の趣旨説明及び協議体の必要性の周知併せて、民生委員など地域の主要となる方々と意見交換し情報収集を行う  ②関係機関と情報共有を行い、連携を図る  ③サポーター養成講座  ④サポーター定例会  **チェック項目**  □①広報活動は十分か（広報紙の作成、班回覧など）  □②地域回りや意見交換などの対象に偏りはないか（ネットワークを拡げ、連携の体制づくりに繋がる活動となっているか）  □③、④サポーターの意欲を高める（または高まった意欲を維持する）工夫をしているか  **【協議体の動き】**  ①事業の趣旨及び協議体の役割を理解  ②地域における社会資源の把握  ③地域ニーズ（困りごと）の抽出及び優先度の決定  ④地域課題の整理  ⑤課題解決に向けての手段の検討  **チェック項目**  □協議体の構成員は適正か、あて職になっていないか  □事業の趣旨及び協議体の役割が理解してもらえたか  □協議体の意見を基に地域活動計画は作成できたか  □ニーズの抽出方法は量的根拠があるか（個人の要望になっていないか）  □次年度のＳＣ活動スケジュールは圏域全体の地域活動計画に関連したものか  **【モデル（重点）事業の設定】（年度末までに）**  ①協議体で抽出されたニーズに基づき、協議体及び地域で解決できそうなモデル事業を設定し検証する  ②モデル事業の最終目標は評価可能かつ具体的にする  　※活動が生活支援・介護予防につながるよう  **チェック項目**  □モデルの選定や、方向性は協議体の意思が反映されているか  （ＳＣ単独の意思ではないか）  □ニーズ解決に資する活動となっているか  □取組目標が生活支援・介護予防の整備になっているか | **ステップ１の動き＋以下の取組み**  **【コーディネーター個人の動き】**  ①包括ケアガイドマップ（支え合い活動一覧）の作成  ②ニーズ調査  ③生活支援とニーズのマッチング  ④第３層SCの育成  **チェック項目**  □①広報や同意書の収集など、積極的に行っているか  □②対象者は適格か（サロン参加者のみになっていないか）  □②民生委員等と連携できているか  □②実現可能な手法となっているか（配付、回収及び集計方法など）  □③「マッチングの流れ」に沿った動きができているか  □③定期的に活動記録の確認を行っているか  □④サポーター等に対し、第３層SCの必要性についての理解を促したか  **【協議体の動き】**  ①地域活動計画に基づくテーマでの会議開催  ②残された地域課題の整理  ③設定したモデル地区のニーズ解決に向けての手法検討  　（モデルによってはステップ１でまとめて行う）  **チェック項目**  □会議テーマが唐突なものとなっていないか  □モデルの進捗管理ができているか  □モデルの取組みについて十分検討されているか、必要に応じて、支援・助言を受けているか  □モデルだけではなく、残された課題についても検討しているか  **ステップ１で定めたモデル事業を実施する**  **【モデルの実証】**  ①モデルを実施し、地域の強み・弱みを発見する  ②具体的な取組により期待できる効果を明らかにする  ③よりよいサービスにするため、改善点を洗い出す  　（うまくいかなかった場合、原因をつきとめ改善する）  ※モデルであるため、１、２か月試運転し検証、を繰り返すほうが、効果的と思われる  **チェック項目**  □目標達成可能か（無理な場合は、再度協議体で検討し、中間目標を立ててみる。）  □実施主体がやりがい、必要性、主体性を持てるようコーディネートできているか  □第２層協議体と常に連携し協力を受けられる体制にあるか | **ステップ２の動き＋以下の取組み＝第３層レベルでの生活支援活動が機能し、ニーズに応えることができている。→包括ケアシステムの構築に寄与している。**  **【コーディネーター個人の動き】**  ①第３層SCの「側面的」支援  ②ボランティアへの必要な支援の継続(活動費補助等)  ③包括ケアシステムの５要素を理解し、それを意識した活動  **チェック項目**  □①第３層（支援活動主体）SCを側面的に支援しながら、第２層SCとして活動できたか  □①②（９月頃）次年度の補助金の申請意向確認  □①②（随時）第３層等の活動継続のためのあらゆる支援  □①②（３月末）当年度補助金受給団体の実績報告支援  □③住まい・医療・介護・予防・生活支援が連動しているものとして、適宜組み合わせるなど、包括ケアシステムの構築に寄与する動きができたか（例：居宅ケアマネとの連携、通いの場参加者同士の繋がりを深めるなど）  **【協議体の動き】**  ①モデル地区の進捗管理（機能しているか、継続的に運営できるか）  ②地域ニーズの再抽出（残されたものがないか）  ③協議体の場でモデル取組みの拡大を図る  **チェック項目**  □モデルの運営支援ができているか  □モデルの活動についてＰＤＣＡサイクルができているか  □生活支援の仕組みが構築できたか  □協議体構成員も参画しているか（ＳＣからの報告だけになっていないか）  □残された地域課題の整理ができているか  **モデルから生活支援の仕組みづくりの確立へ**  ①立ち上げたボランティア活動（団体）のサポート・助言  ②モデルの取組みを他地域へ波及できないか(活動の拡大)  ③必要な支援の継続(活動費補助等)  **チェック項目**  □団体の自立した運営に向けた支援ができたか（第３層SCの育成に繋がったか）  □モデルの取組みの拡大に積極的に取り組んだか  □（９月頃）次年度の補助金の申請意向確認  □（３月末）当年度補助金受給団体の実績報告支援 |